

榎山池 ハザードマップ

【ハザードマップに関するお問い合わせ先】
羽曳野市 生活環境部 産業振興課
TEL:072-958-1111(代表)

ハザードマップについて

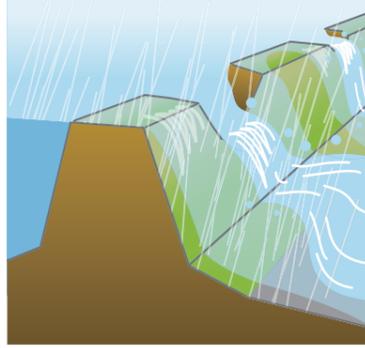
このハザードマップは、大雨等により、万が一ため池が決壊するおそれがある場合の備えとして、安全な避難行動に役立てるための情報を提供する目的で作成しました。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んで確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主避難を心がけましょう。
- いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

こんな時は要注意！！

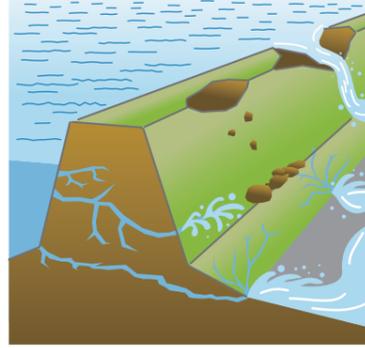
～大雨のとき～

大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



～大地震のとき～

大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に到ることがあるので注意が必要です。



避難の心得



状況により、すばやく避難しましょう

避難の準備を心がけ、市からの指示があれば、素早く避難しましょう。災害時の状況によっては、垂直避難(2階以上)も考えましょう。



外出中の家族には連絡メモを残そう

「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。



住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。



集団で助け合おう

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



非常持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品は両手が自由に使えるようリュックサックにまとめ、持ち出しやすい所に置いておきましょう。



避難所では係の人の指示に従いましょう

避難所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

避難情報と住民のとりべき行動

情報収集

災害の発生が予想される状況では、ラジオ・テレビなどで正確な情報を収集します。また、周りの様子にも注意しましょう。

ため池の異常に
気づいたら…
すぐに連絡・通報！

羽曳野市役所 072-958-1111
羽曳野警察署 072-952-1234
柏羽藤消防組合消防本部 072-958-0119

危険度	高	警戒レベル5 命を守る行動	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
		警戒レベル4 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
		警戒レベル3 高齢者等避難	避難に時間を要する人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等)とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
		警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
	低	警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。

← 警戒レベル1～2は、気象庁より発表されます。

※ 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※ 上記の発令に関わらず、身の危険を感じたら、自主避難するなど身の安全を確保しましょう。

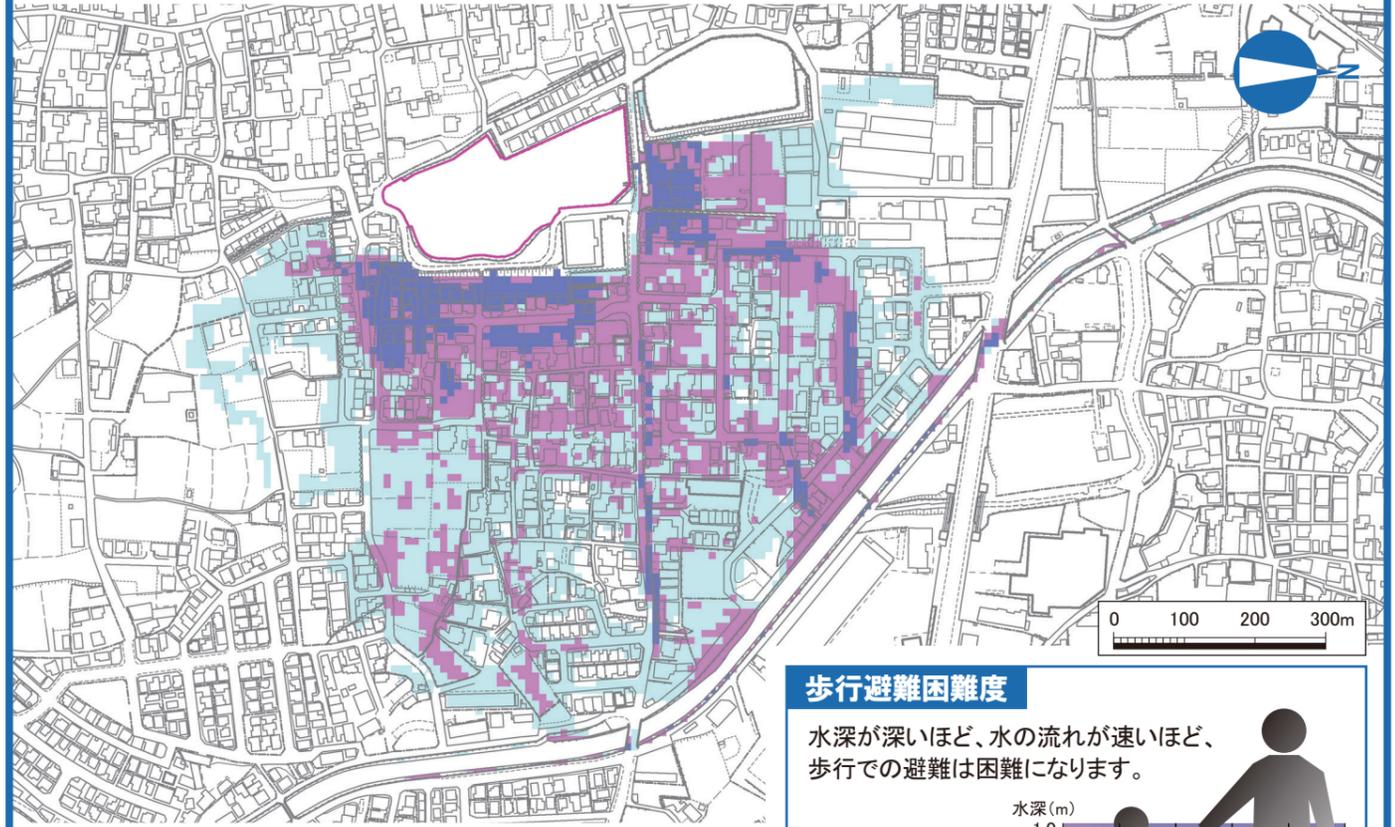
雨の強さと降り方(1時間雨量)

※気象庁資料参照

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10～20mm未満	20～30mm未満	30～50mm未満	50～80mm未満	80mm以上
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川ならはん濫、また、がけ崩れの心配もあります。	激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

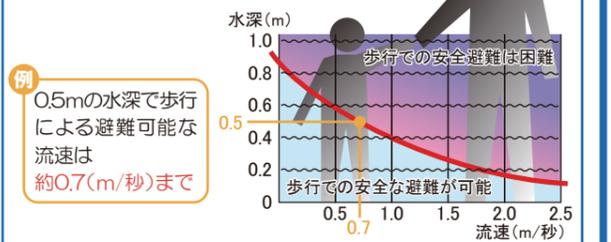
浸水後の避難の困難度について

シミュレーションにより算定された各地の浸水深・流速から歩行困難度を整理しました。「歩行不可能」「歩行困難」と判定された地域では、浸水する前の事前避難が重要です。



歩行避難困難度

水深が深いほど、水の流が速いほど、歩行での避難は困難になります。



浸水深・流速による歩行困難度

	流速V	V<0.5m/s	0.5m/s≤V<1.0m/s	1.0m/s≤V
		緩 ←	→ 急	
浸水深h				
1.0m≤h	深	歩行困難	歩行不可能	歩行不可能
0.5m≤h<1.0m		歩行可能	歩行困難	歩行不可能
h<0.5m	浅	歩行可能	歩行可能	歩行困難

ため池の役割

ため池は、雨が少なく、大きな河川から離れた地域等で、農業用水を確保するために、水を貯めておく人工的な池のことです。

農業用水としての役割

雨が少ない地域では、古くから農業用水をため池に貯め、利用しています。

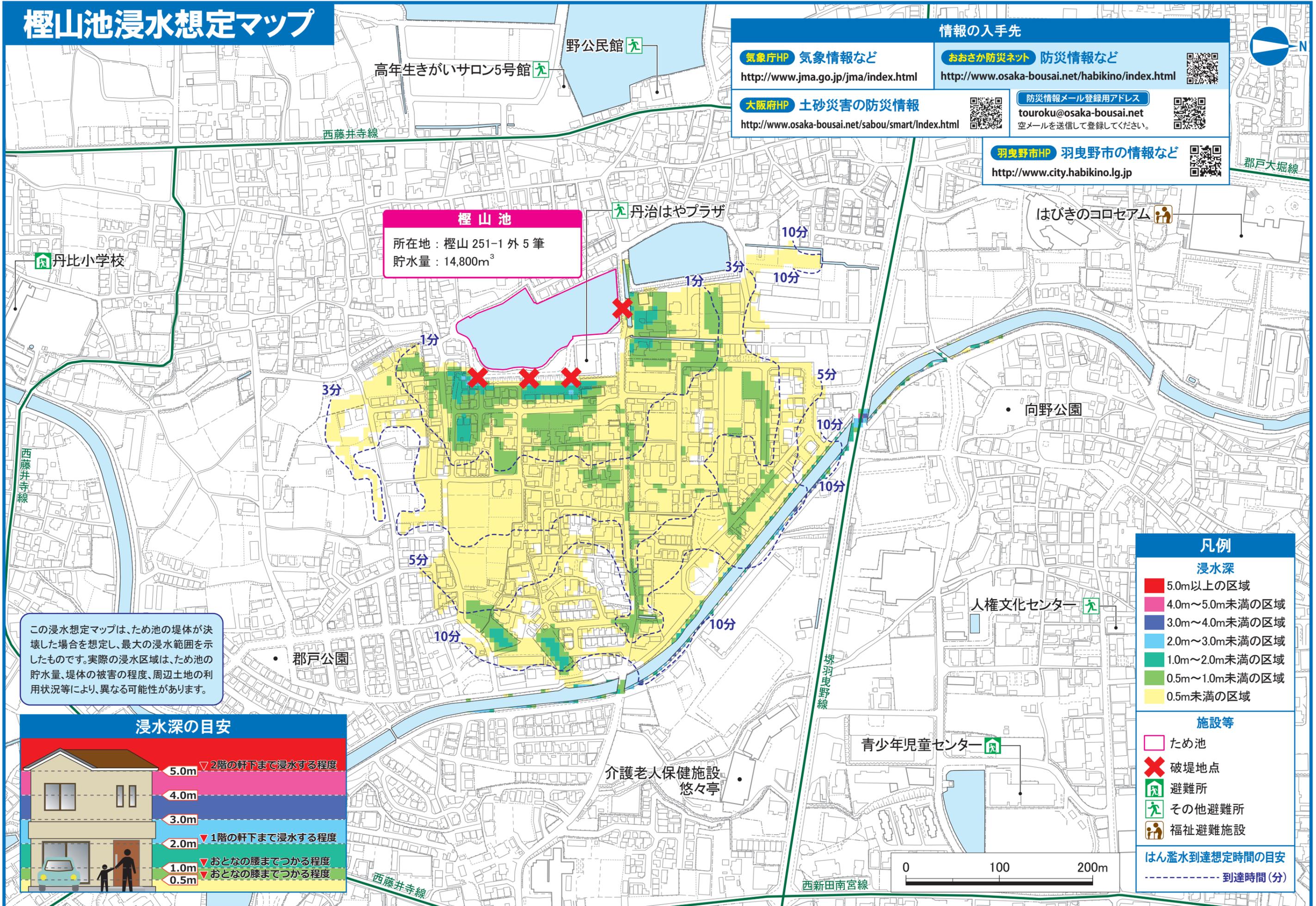
防災としての役割

大雨時の洪水調節や、火災時の防火用水としての役割があります。

水辺空間の形成

都市化の進行や開発によって緑や水辺空間が減少する中、水に親しむことのできる場所を提供しています。

榎山池浸水想定マップ



情報の入手先

気象庁HP 気象情報など
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

おおさか防災ネット 防災情報など
<http://www.osaka-bousai.net/habikino/index.html>

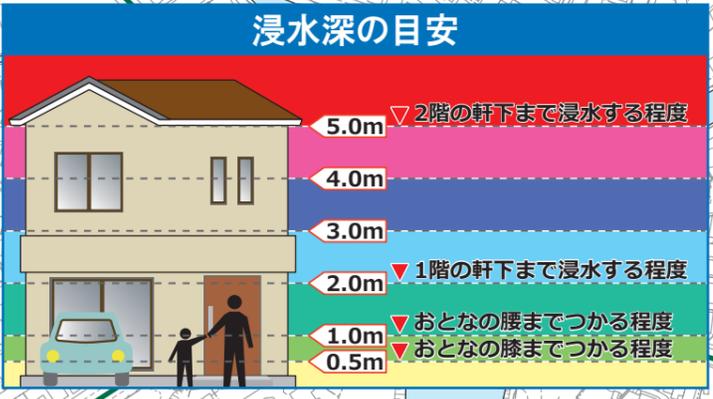
大阪府HP 土砂災害の防災情報
<http://www.osaka-bousai.net/sabou/smart/Index.html>

防災情報メール登録用アドレス
touroku@osaka-bousai.net
 空メールを送信して登録してください。

羽曳野市HP 羽曳野市の情報など
<http://www.city.habikino.lg.jp>

榎山池
 所在地：榎山 251-1 外 5 筆
 貯水量：14,800m³

この浸水想定マップは、ため池の堤体が決壊した場合を想定し、最大の浸水範囲を示したものです。実際の浸水区域は、ため池の貯水量、堤体の被害の程度、周辺土地の利用状況等により、異なる可能性があります。



凡例

浸水深

- 5.0m以上の区域
- 4.0m～5.0m未満の区域
- 3.0m～4.0m未満の区域
- 2.0m～3.0m未満の区域
- 1.0m～2.0m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

施設等

- ため池
- 破堤地点
- 避難所
- その他避難所
- 福祉避難施設

はん濫水到達想定時間の目安

----- 到達時間(分)

